

別紙

市産のみなご

金帳 日本連務労働東京支部

三日の懇談会に日としく私達の日園の不平や要求が一時にバクハのしりや  
 一、食費の低下と一日三十分の食券制度に  
 一、八時同勤労働制  
 一、同二労働に同一給料と支給してトとい  
 一、病室公傷には責任治療と給料支  
 給しなさい

等々私達の日園からの不平不満が深山の要求となりて人となり所長の所へこし出くたるとす  
 私達の要求はみななをたりよけな何処の施設でし家賃行り水てあることなのです  
 みなさん 所長は日少くともその身を要求する誠意はありませぬ回答をのやれやれと要求  
 平て中野君の又パイと一階下私達のたまたま交際が当り大仲間や私達のたまたま所長や婦長  
 にニコニコと計てくくるお仲間と不当にし物めとてろつたりす  
 みなさん、所長婦長の悪意が自解りおておます勇敢に先頭に立つ大仲間を敵  
 知り要求を踏にしろ腹ひす 一月間を病院の姉妹がやをたぐみ人なで解りかけ  
 一、検査者さすくくせ！  
 一、クビ切り絶対反対！  
 一、喫煙と大要求をいれろ！ 一、所長に迫ろ！  
 みなさん、だれも計て物めとてろつたりする仲間ととり戻えろ！ 之は私達の望めな女  
 友団員としておめえろ！

6. 3. 18  
2256

第九号

昭和六年三月十三日

警視總監 丸山 鶴吉

内務大臣 安達 謙藏 殿

社会局長官 吉田 茂 殿

各府県 長官 殿

東京市療養所看護婦、待遇改善要求ニ関スル件

「日本医務」 (第二報)

要旨  
 (一) 療養所にて十日に謀看護婦八名ヲ退職シ翌十日九名ヲ退職セリ又十四日退職セリ此三  
 (二) 看護婦、療養所、集會ニ對シ無禮言動アリ日本医務ノヒラ四種撤布ス